

# Training Portfolio

## 高齢者薬物治療認定薬剤師

平成28年8月16日改訂 (認定制度一部改定)

## 高齢者薬物治療認定制度概要

この認定制度は、生理機能の低下した高齢者の薬物治療に必要な基礎知識の習得に加え、個々の患者の状況に応じて問題があれば処方提案を行い、より適切な治療が提供出来るよう、臨床の場で他職種と処方検討等を行う事が出来る臨床能力を持った薬剤師を養成することを目的としています。

### 《 目指す薬剤師像 》

#### ◇ 認定薬剤師（2年の研修を通して試験に合格）

合併症の多い高齢者の他科受診や生理機能の低下に起因する様々な薬物治療の問題に対して、改善に必要な基礎知識を習得し、医師の処方意図に基づき検討することができる薬剤師。

#### ◇ 専門認定薬剤師（認定後2年の研修を通して試験に合格）

様々な要因が絡む高齢者の薬物治療における問題に対し、必要な情報を他職種と共有、評価を行い、患者個々の状況に応じたより良い薬物治療が提供出来るよう、処方の再構築を検討し、処方提案により医師をサポートできる薬剤師。

## 目次

高齢者薬物治療認定制度概要・目次	2
個人の履歴	3
研修および認定の記録	4
処方提案症例レポート提出記録	5
Webラーニング研修の受講記録	6
セミナー・ワークショップ受講記録	42
認定要件および申請の方法	46
一般社団法人人財育成機構概要・連絡先	47

## [目的]

当法人は、薬剤師、管理栄養士、登録販売者その他の薬局ないし医療機関の関係スタッフ等（以下、「薬剤師等」という。）の資質及び専門性の維持・向上を図り、また、薬剤師等の間の相互支援、交流、連絡等を支援することにより、国民の心身の健全な発展及び健康寿命の延伸に寄与し、もって国民が豊かな人生を送ることに貢献することを目的とする。

## [事業]

当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 薬剤師等に対する講習会・セミナー等の開催による生涯研修事業
- (2) 薬剤師等に対する各種認定事業
- (3) 薬剤師等の相互支援、交流、連絡等の支援事業
- (4) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

## [申請書提出先]

〒100-6610 東京都千代田区丸の内1丁目9番2号 グラントウキョウサウスタワー10F  
 一般社団法人薬局共創未来人財育成機構 (高) 認定薬剤師申請担当 宛

## [問合せ先]

Mail : koreisha@pfpd.or.jp  
 Tel : 03-6838-2837

## [組織概要]

組織名	一般社団法人 薬局共創未来人財育成機構
所在地	〒100-6610 東京都千代田区丸の内一丁目9番2号 グラントウキョウサウスタワー10F
代表理事 理事	浅山 亨 (ファーマクラスター株式会社 副社長 薬剤師) 赤羽根 秀 宜 (中外合同法律事務所 弁護士・薬剤師) 宮本 法子 (東京薬科大学名誉教授 / 北里大学薬学部客員教授 薬剤師) 加藤 裕 芳 (東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部長 薬剤師) 平野 裕 幸 (NPO法人患者中心の医療を共に考え共に実践する協議会副理事長)
設立日	平成27年2月4日
活動内容	(1) 薬剤師等に対する講習会・セミナー等の開催による生涯研修事業 (2) 薬剤師等に対する各種認定事業 (3) 薬剤師等の相互支援、交流、連絡等の支援事業 (4) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
ホームページ	http://www.pfpd.or.jp
連絡先	Tel : 03-6838-2837 Fax : 03-3216-0155 Mail : info@pfpd.or.jp

【認定の要件】

- (1) 初回集合研修参加日から2年間（諸事情がある場合は3年間、特別の事情がある場合には最長4年間）の間に研修を受講していること。  
認定試験を、諸事情により2年経過後受験出来ない場合、また不合格となった場合は、開始から最長3年以内を研修期限延長期間として認め、その間は3報/年の処方提案症例レポートを提出して頂きます。（出産等の特別の事情がある場合には最長4年）  
また、受講開始の時期により受講する順番は前後しても構わないが、スタートアップセミナーは出来るだけ初年度に受講をすること。専門認定薬剤師も同様の研修期間とする。
  - ① スタートアップセミナー（認定薬剤師のみ）
  - ② 症例検討WS（認定薬剤師・専門認定薬剤師それぞれ既定のワークショップ）
  - ③ Webラーニングによる自己学習  
（研修期間以前に受講した方も再受講し、手帳に受講日を記載すること）
- (2) 処方提案症例レポートおよび活動報告書を規定の基準に従い提出を終えていること。
  - ① 高齢者薬物治療認定薬剤師：処方提案症例レポート（3報/年）
  - ② 専門認定薬剤師：処方提案症例レポート（2報/年）活動報告書（1報/年）
- (3) CPC認証機構または学会が認める認定薬剤師であること。  
例）日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師  
高齢者薬物治療認定薬剤師制度のプログラムが目指す「高齢化社会における不適切処方をマネジメントできる高い臨床能力を持つ薬剤師の育成」には、ジェネラリストとしての知識・スキルを、継続して学び習得していることが前提条件と考えられるため。

【更新の要件】 ※ 認定薬剤師・専門認定のどちらも同様になります。

- (1) 認定薬剤師更新者
  - ・ 症例検討WS-V（毎年テーマを変更）への参加（2回/3年）
  - ・ WS-I～IIIへのファシリテーター参加（1回/3年）
  - ・ 処方提案症例レポート（3報/年）
- (2) 専門認定薬剤師更新者
  - ・ 症例検討WS-V（毎年テーマを変更）への参加（2回/3年）
  - ・ 症例検討WS（V以外）へのファシリテーター参加（1回/3年）
  - ・ 処方提案症例レポート（2報/年）および活動報告書（1報/3年）

【認定申請】

以下の必要書類を事務局宛に送付することで完了する。（申請書は認定試験合格者に配布）

- (1) 認定薬剤師
  - ・ 認定薬剤師申請書
  - ・ 研修ポートフォリオ手帳
  - ・ CPC認証機構または学会が認める認定薬剤師の認定証の写しを添付する。
  - ・ 認定申請費用 ¥10,000（税別）
  - ・ 顔写真（IDカードに印刷希望者のみ）
- (2) 専門認定薬剤師
  - ・ 専門認定薬剤師申請書
  - ・ 研修ポートフォリオ手帳
  - ・ 認定申請費用 ¥10,000（税別）
  - ・ 顔写真（IDカードに印刷希望者のみ）
- (3) 更新認定
  - ・ 認定薬剤師更新申請書
  - ・ 研修ポートフォリオ手帳
  - ・ 認定申請費用 ¥10,000（税別）
  - ・ 顔写真（IDカードに印刷希望者のみ）

【認定薬剤師証の再交付手続】

- (1) 「認定薬剤師証」を汚損・破損および紛失の場合、また氏名変更があった場合には、「認定薬剤師証再交付申請書」を提出と再交付手数料（¥3,000）の支払いをもって、再交付の申請を行う事が出来る。（申請書はホームページよりダウンロードする）

(シメイ)

氏名： \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\* 薬剤師免許

登録番号： \_\_\_\_\_ 登録年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

保険薬剤師： \_\_\_\_\_ 登録年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\* その他資格

\_\_\_\_\_ 取得年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 取得年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 取得年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 取得年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 取得年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\* 認定

※ 高齢者薬物治療認定薬剤師の認定要件の一つとして、薬剤師認定制度認証機構（CPC）が認証する「認定薬剤師制度」または学会等により認定された「認定薬剤師」であることが定められておりますので、申請までに認定を受けておく必要がございます。

\_\_\_\_\_ 認定年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 認定年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 認定年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 認定年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 認定年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\* 所属団体等

\_\_\_\_\_ 入会年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 入会年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 入会年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 入会年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 入会年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 入会年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 入会年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

◆ 研修期間

研修開始日：平成 年 月 日 ( )

研修終了予定日：平成 年 月 日 ( )

研修終了日：平成 年 月 日 ( )

※ 開始日は初回の集合研修の日付をご記入ください。

※ 研修終了日は研修開始の日から、2年以上3年以内であること。

◆ 認定試験受験日

平成 年 月 日 ( )

※ 研修開始から、2年以上3年以内に受験すること。(特別な事情がある場合には4年)

◆ 高齢者薬物治療 認定薬剤師 認定日と認定期間 (3年間)

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

◆ 専門認定薬剤師 研修期間

研修開始日：平成 年 月 日 ( )

研修終了予定日：平成 年 月 日 ( )

研修終了日：平成 年 月 日 ( )

※ 開始日は高齢者薬物治療認定薬剤師認定日となります。

※ 研修終了日は研修開始の日から、1年以上3年以内であること。

◆ 専門認定試験受験日

平成 年 月 日 ( )

※ 専門認定研修開始から、連続した2年の研修期間を経て受験すること。

◆ 高齢者薬物治療 専門認定薬剤師 認定日と認定期間 (3年間)

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

◆ ( 認定薬剤 ・ 専門認定薬剤師 ) 更新記録

更新1回：平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

更新2回：平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

更新3回：平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

更新4回：平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

更新5回：平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

更新6回：平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

	研修年度	ワークショップ参加	症例レポート提出	活動報告
認定	スタートアップセミナー			
	認定研修 1年目			
	認定研修 2年目			
	認定研修 3年目 (延長)			
専門	専門認定研修 1年目			
	専門認定研修 2年目			
	専門認定研修 3年目 (延長)			
更新1	更新1回目研修 1年目			
	更新1回目研修 2年目			
	更新1回目研修 3年目			
更新2	更新2回目研修 4年目			
	更新2回目研修 5年目			
	更新2回目研修 6年目			
更新3	更新3回目研修 7年目			
	更新3回目研修 8年目			
	更新3回目研修 9年目			
更新4	更新4回目研修 10年目			
	更新4回目研修 11年目			
	更新4回目研修 12年目			
更新5	更新5回目研修 13年目			
	更新5回目研修 14年目			
	更新5回目研修 15年目			
更新6	更新6回目研修 16年目			
	更新6回目研修 17年目			
	更新6回目研修 18年目			

※ Webラーニングは次ページ以降で個別に記録、ワークショップは別紙レポート用紙あり。